

2017年5月12日

Futaba Innovation Plan 2020

中期経営計画 (2017年4月～2020年3月)

双葉電子工業株式会社

目次

● ビジョン70 振返り	P 2
● 業績推移(2012年度～2016年度)	P 4
● Futaba Innovation Plan 2020	P 5
● ビジョン2020 基本方針	P 6
● 重点施策	
● 電子デバイス関連事業	P 8
● 生産器材事業	P 10
● 持続的成長に向けた取り組み	P 11
● 発展ステージへの取り組み	P 13
● 経営目標	
● 業績	P 15
● 株主還元	P 17

2018年度 到達像（ビジョン70※）

Futaba テクノロジーを核に、世界で躍進するリーディングカンパニーを目指します

※ビジョン70とは、創立70周年にあたる
2018年に向けた到達像を示したものです。

第4の柱の創成

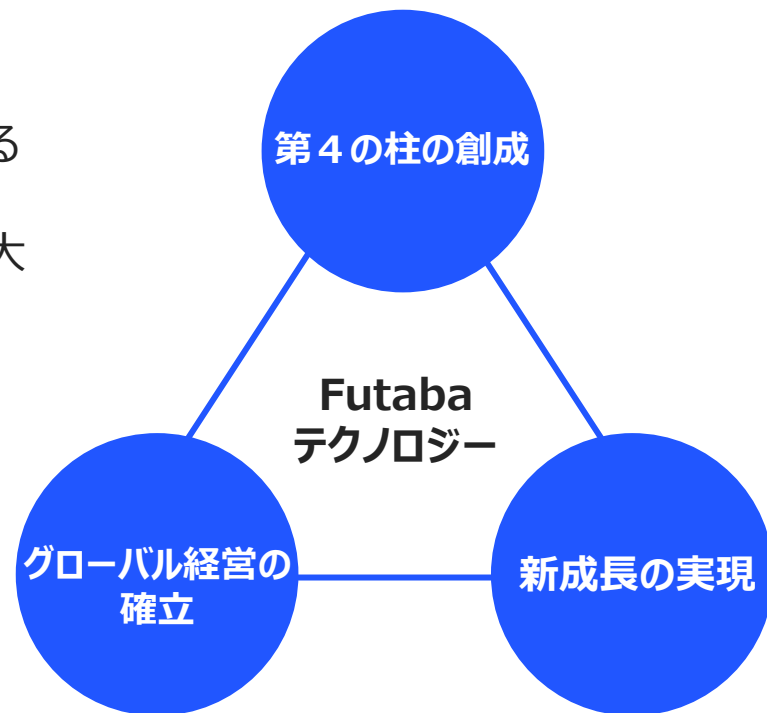
- ・未踏領域に挑戦して創る将来性ある新事業
- ・3事業の新成長によるブレークスルーが生み出す新事業

新成長の実現

- ・連続的バージョンアップによる、時代の要求に応え続ける
強靱な事業体質の形成
- ・新領域の開拓、ビジネスモデルの変革による業容の拡大

グローバル経営の確立

- ・Futaba Wayの共有に基づく、一体感ある企業行動・
戦略遂行による競争力強化と世界の顧客への貢献
- ・現地に根差した幹部登用と事業の展開を通じた
地域社会の発展を支える経営の推進

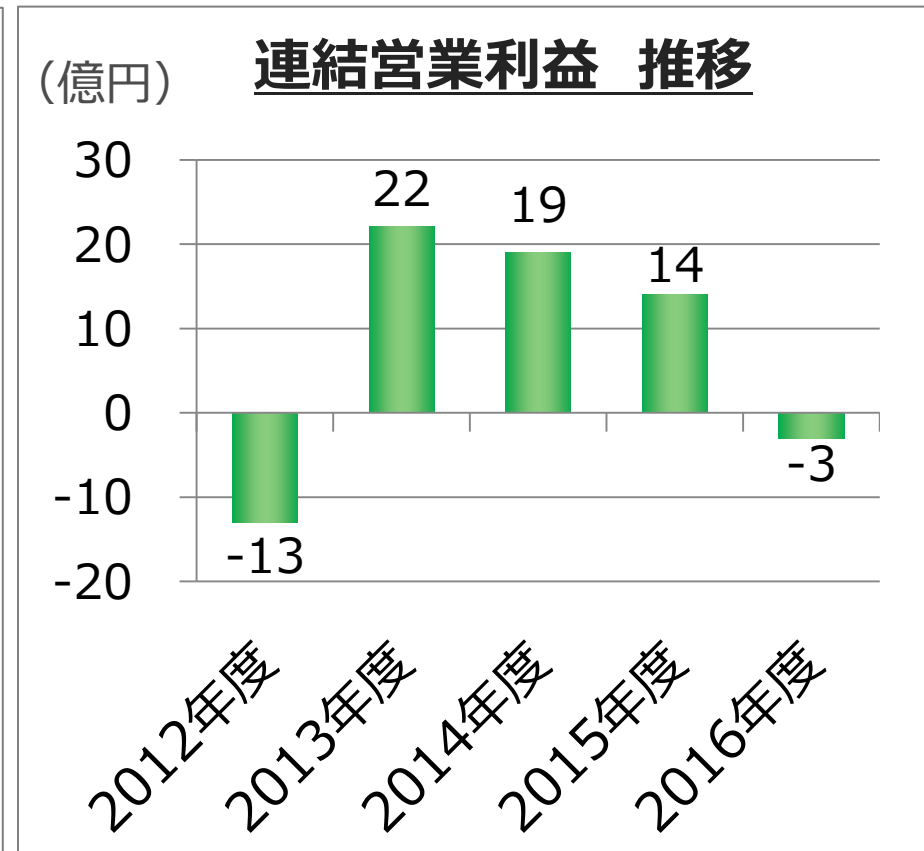
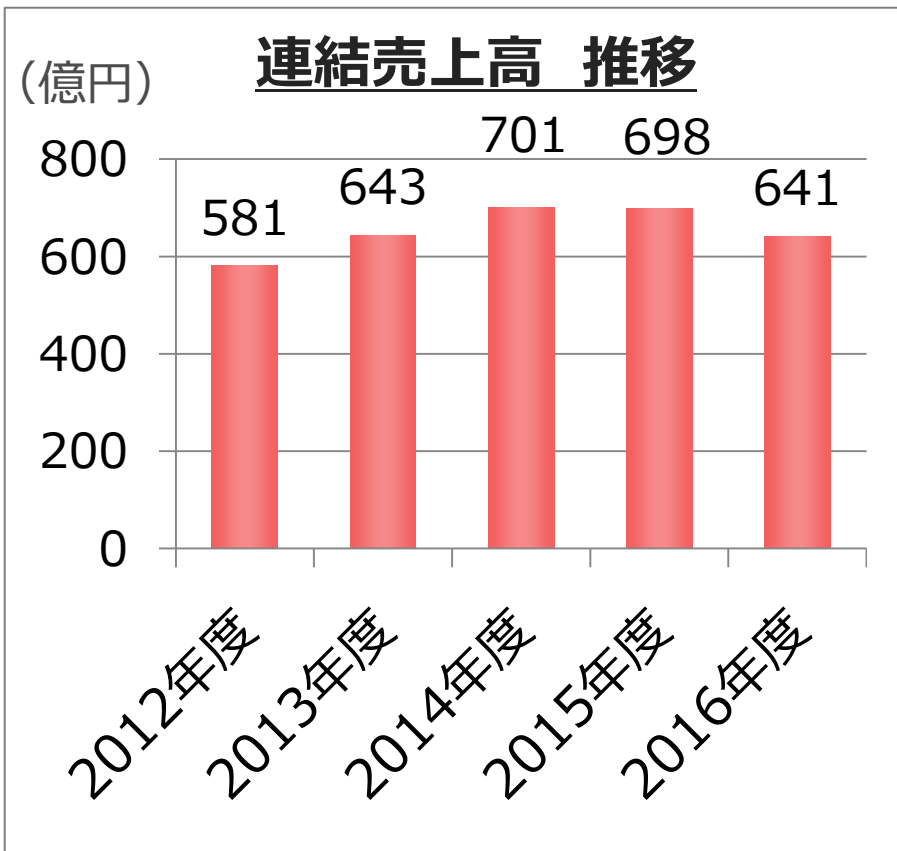


ビジョン70 振り返り

	実行内容	課題
第4の柱の創成	●ドメインを拡大し未踏領域へタッチパネル事業の創出 ●ブレークスルーを生み出す仕組みメカトロ製品開発センター 設立	●商品の付加価値を向上する取組みの加速 ●更なる新事業の確立
新成長の実現	●時代の要求に応え続ける仕組み経営企画機能 再編コア技術開発センター 設立 ●新たな領域への挑戦有機ELディスプレイロボティクス用製品	●新技術・新製品の開発とビジネスモデル変革のスピードアップ ●事業の基盤固めと用途拡大
グローバル経営の確立	●グローバルな事業展開拠点の最適化 ●現地に根ざした経営確立ASEAN地域への新たな拠点展開	●拠点機能の再設計 ●マーケット変化への迅速な対応

業績推移

新分野の事業創出など一定の成果を挙げたが、
市場環境の変化に遅れをとり、業績低迷を招いている



※億円単位未満は切り捨て

Futaba Innovation Plan 2020

ビジョン70の加速と次代の発展の基礎固め

2017年4月

2020年3月



©DeAGOSTINI

Futaba Innovation Plan 2020

ビジョン70

- ・第4の柱の創成
- ・新成長の実現
- ・グローバル経営の確立

ビジョン2020

ビジョン70の加速

基礎固め

世界で躍進する
リーディングカンパニー

発展ステージへ

創立70周年

ビジョン2020

1. Futabaテクノロジーを進化させ、イノベーションを引き起こし、世界で躍進するリーディングカンパニーとなる
2. 自由で豊かな発想により、斬新な技術や製品を次々に生み出す企業となる

基本方針

「次期成長に向けた体質の改革」

- ・組織体制の再編
- ・市場、製品の集中
- ・生産体制の改革
- ・国内外拠点の再構築

「自社の強みを進化させ、成長事業へ革新」

- ・社内リソースの融合と応用による革新
- ・アライアンス、M&Aなど積極的な外部リソース活用による革新
- ・挑戦的風土の醸成

重点施策

「ヒトとモノとの快適なインターフェイス」のニッチトップを目指し変革

集中・集約による体質強化

有機EL (OLED)

“独自性”に集中

市場・製品の集中により収益力強化、成長スピードアップ

透明OLED

映像

独自性

車載



蛍光表示管

海外オペレーションの強化

- ・製造を海外に集約
- ・徹底した合理化で収益力強化



台湾



フィリピン

オープンイノベーションによる成長

タッチパネル

車載向け新製品で更なる成長へ

オープンイノベーションによる新技術開発で
先進的なインターフェイスデザインを実現



電子デバイス関連事業

信頼性の高い通信技術を基盤とした新たな製品で用途拡大

積極的アライアンスでドメイン拡張

産業用無線

新しい技術獲得による用途拡大

高画質画像伝送

ドローン



農業分野への展開



アクチュエータ

ホビー分野から産業分野へ



サーボ

©DeAGOSTINI

社内リソースの融合と応用

複合モジュール

“無線HMI”で拡大

当社技術の融合により、新たな無線HMI製品をラインナップ



HMI = Human Machine Interface

コンシューマーに新たな魅力を提供

ホビーラジコン

トップブランドとして新しい「遊び」を提案



生産器材事業

ICTを徹底活用した「工程の知能化」によってモノづくりの合理化に貢献

モノからコトへ合理化手段を拡張

プレート

サービスを付加して設備産業へ



- ・調達を合理化する新サービス
- ・マスカスタム生産を合理化する新規格プレート

カスタム品調達時間の短縮

金型用器材

自動化はヒトの技能の領域へ

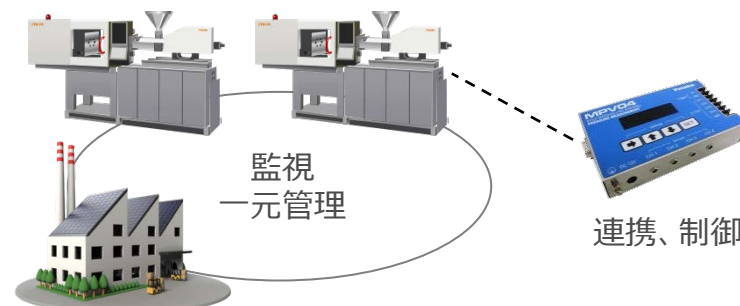


- ・顧客の設計・調達工数を削減するサービス
- ・熟練工の知識と経験を生産システムへ展開

成形合理化商品

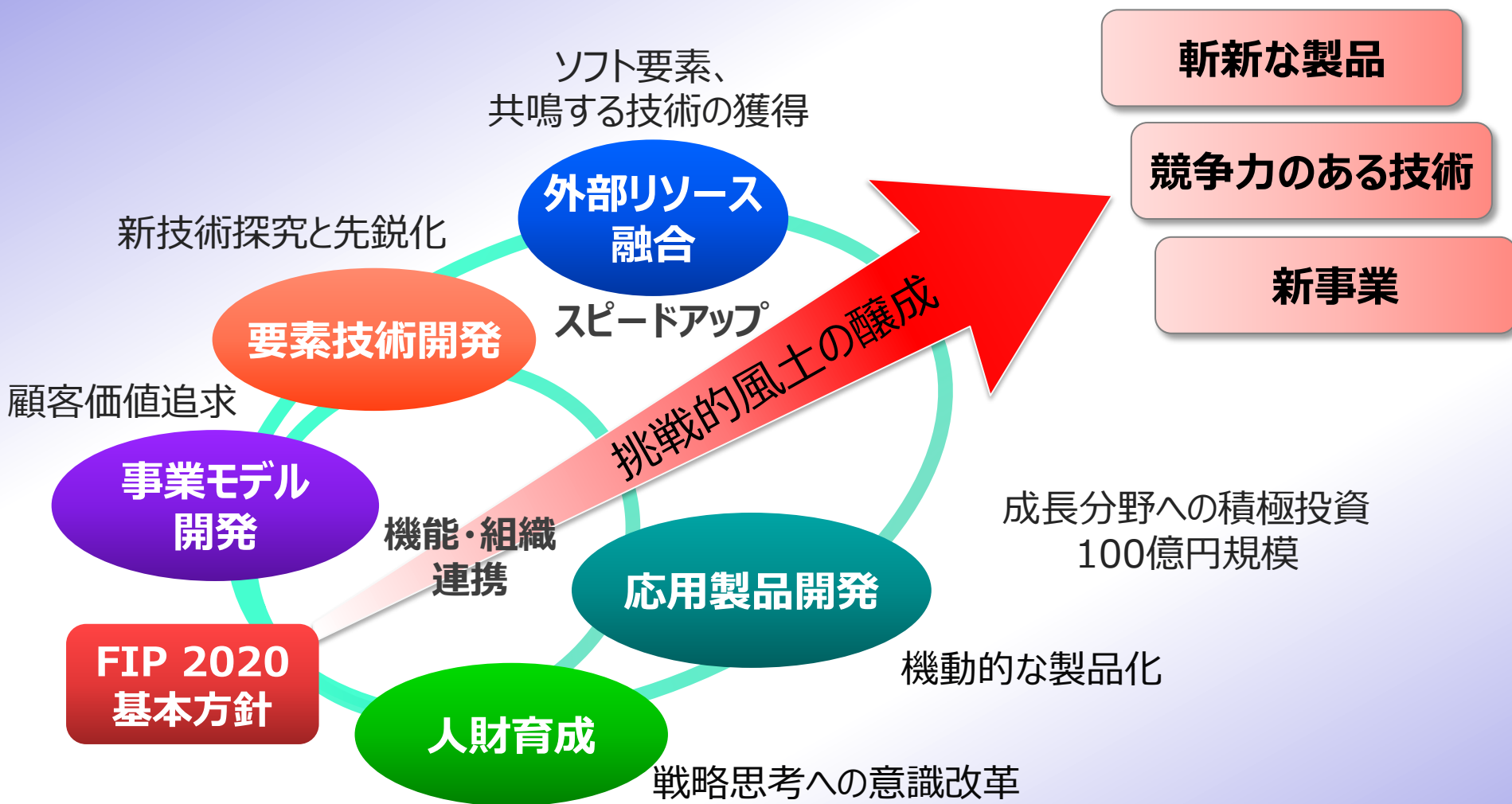
“見える化”の先へ

- ・生産ラインの省力化を支援するIoT遠隔監視システム
- ・取得データの解析による生産合理化支援サービス



持続的成長に向けた取り組み

既存事業の枠組みを超えた展開



発展ステージへの取り組み

発展ステージへの取り組み

IoT、ロボティクス時代を支えるシナジー製品

組織再編・連携強化によりシナジー製品の開発に注力

無線
HMI

ロボティクス

直観的
操作

予知保全

生産工程合理化を促す器材・サービス

変革が進むモノづくりの合理化をリードする
ビジネスモデルへ革新

新材料

マスカスタム
市場

非表示用途
タッチセンサ

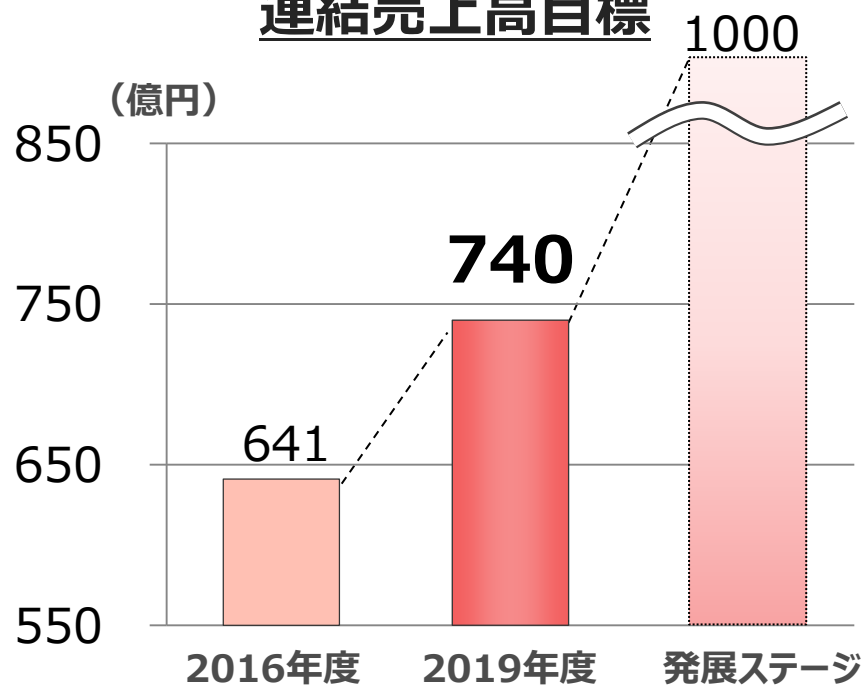
經營目標

経営目標(業績)

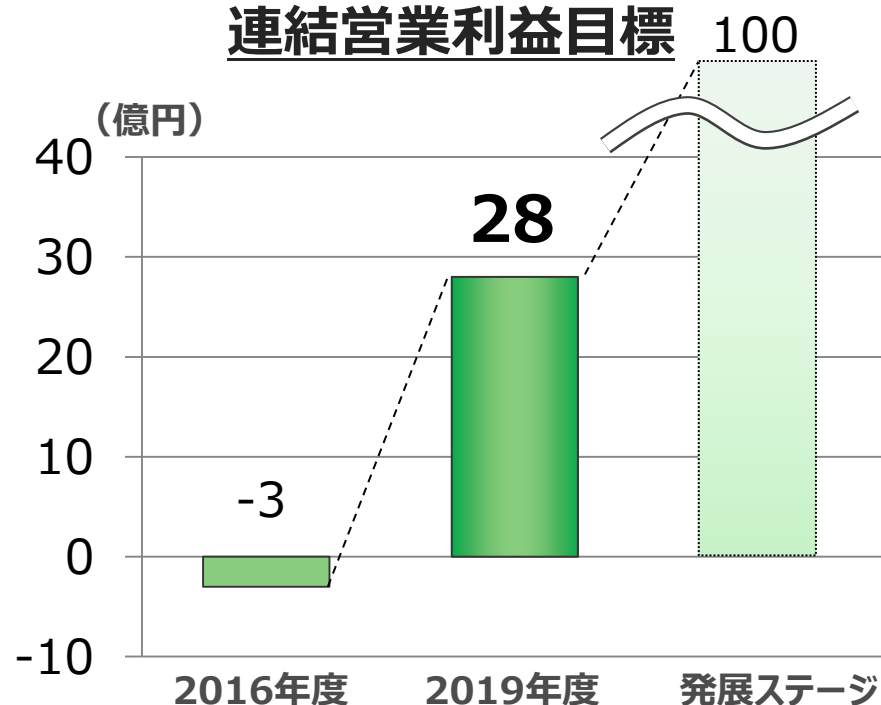
	2019年度目標	2016年度対比
売上高	740億円	99億円増
営業利益	28億円	31億円増
営業利益率	4%	—

※為替:1\$=110円

連結売上高目標



連結営業利益目標



※億円単位未満は切り捨て

経営目標(業績)

<売上高>

(金額単位：億円)

	2016年度 実績		2019年度 目標		2016年度 対比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	伸長率
電子デバイス関連事業	336	52%	408	55%	72	21%
生産器材事業	304	48%	332	45%	28	9%
売 上 高	641	100%	740	100%	99	15%

<営業利益>

(金額単位：億円)

	2016年度 実績		2019年度 目標		2016年度 対比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	伸長率
電子デバイス関連事業		▲13	12		25	
生産器材事業	10		16		6	
営 業 利 益 (営業利益率%)		▲3 (▲1)	28 (4)		31 (5)	

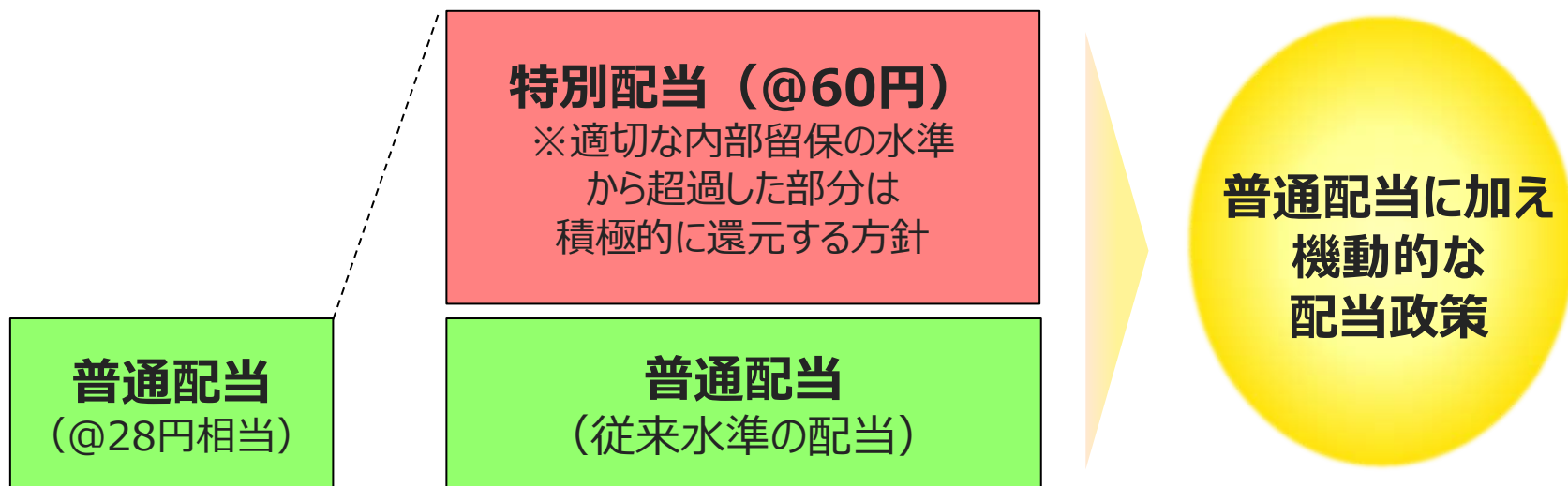
※億円単位未満は切り捨て、%は小数点以下を四捨五入

経営目標(株主還元)

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題のひとつと認識し、継続的かつ安定的に実施することを基本方針としています。

指標	2019年3月期目標
DOE	3%

～2016年3月期 → 2017～2019年3月期 → 2020年3月期～



**私たち Futaba グループは
なくてはならない器材・サービスを創出し
世界の発展に貢献します**

注意事項

本資料に記載されている将来計画の業績については、当社が現時点で入手している情報に基づいた見通しであり、実際の業績は様々な要因により、これらの見通しとは異なる結果になる可能性があります。